

# はぐはぐ Cafe 通信

子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

Vol.23

2024年7月14日発行  
<http://hagu-hagu.com>

発行者/NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ事務局 〒920-0955 石川県金沢市土清水2丁目396番 TEL 070-6559-9557 FAX 076-229-3713

## 「1000人の子どもに1000通りの子育て」～オーダーメイドな子育て～

いつも皆様には、はぐはぐのご支援を賜りましてありがとうございます。温かいお声かけやお志にスタッフ一同心より感謝いたしております。

「あ～もう学校にいきたくな～い」「いじめる子がいるからいやだ!」「つかれる～」「べんきょうきらい!」などなど、支援で関わる子どもたちは、慣れてくると安心するのか私たちにいろいろ話をしてくれます。学校や友達の話は言っても親の悪口を言う子はほとんどいません。逆に親のことを心配していたり、親が頑張っていることを教えてくれたりします。私たちの接している子どもたちが、特別な環境にいたり、一人親家庭のお子さんが多いせいでしょうか。そうでなくても、どの子も親の事が大好きで、大切に思っています。

そんな彼らはいつも親に、「自分の方を見てほしい」「何も言わなくていいから、ただ側にいてほしい」、そして「ありのままの自分を愛してほしい」一言葉にならなくてもそう訴えかけています。

ところが親側は、そんな子どもの思いを知ってか知らずか、自分たちにとって都合の良い子育てをしようとしてしまいます(かつての私もそうでした...)。時にはヨソの家の子と比べ、また他人の評価を真に受け、子どもを傷つけてしまうことも。まったく子どもからすれば迷惑な話です。最近ではパワハラ、モラハラなど、大人は訴えることもできますが、子どもは大人に対してなかなか訴えることはできません。不適切な養育や教育でハラスメントにあっている子どもたちは、家庭や学校でみんな必死に耐えています。子どもの声を代弁できる大人が周りに沢山いたらどんなに良いのだろうと思います。

大人の都合の良い子どもを育てるのではなく、子どもが自分らしくいられて、その良いところを伸ばしていけるように、親は何をしてあげるべきか、何をしないで良いのかが問われます。今の時代、価値観が多様化し、SNSでは様々な子育てのやり方が語られ示されており、何を信じて参考にして良いのかわからなくなり、途方に暮れる親ごさんも少なくありません。

子育て支援を初めてから、沢山の親子に出会い相談を受け、支援をしてきましたが、そこから導かれた一つの答えは、1000人の子どもに1000通りの子育てがあるという至極当たり前のことです。親ごさんやお子さんの気質や特性は一人一人全く違います。その子に合った子育てをすることで、子どもは本来もっている育つ力を発揮できるでしょう。

最近、ペアレンティングプログラムが再び注目されています。数年前から私たちも、オーダーメイドのペアレンティングプログラム(MOP)を親ごさん向けの子育てセミナーに取り入れるようになりました。このプログラム(P4に紹介)は子育ての「道しるべ」の一つとして、広く皆さんにも利用していただけるように、支援者向けのセミナーを開催し、自治体や様々な場所でお話をさせていただいております。どうしたら子どもたちみんなが、イキイキとノビノビと暮らせるようになるのか、簡単に答えは見つかりませんが、私たちはこれからも努力を惜みず、親ごさんや子どもたちと共に歩んでいきたいと思っております。この半年間もスタッフやボランティアの皆さんとともにささやかな支援に取り組んで参りましたので、ここにご報告をさせていただきます。

## 能登地震被災児支援(特別支援)

令和6年元旦に発生した能登半島地震で被災し、金沢に避難してきた高校生と小学生を対象に、額谷ふれあい体育館に設置された避難所で、1/26から学習支援や生活支援を開始しました。また、2/4にはコティで臨時の子ども食堂を開き、避難所の子どもたちを送迎付で招いて、避難所ではなかなか口にできないフレッシュなサラダやスタッフ手作りの温かな家庭料理、新鮮なお刺身など思いっきり食べていただきました。「お腹いっぱいだよ～」「むちゃ美味しい～」と屈託なくしゃべっていた子どもたちは、それぞれ不安や戸惑いを感じながら避難所で不自由な生活をしていました。ほとんどの子どもたちは震災後、親たちの大変さを感じ取り、言いたいことも我慢をしていました。携わったスタッフはみな、子どもたちの切なさが伝わってきたと話していました。その日スタッフや学生ボランティアと楽しく一時を過ごすことができ、明るい笑顔が広がっていたように

感じられました。学習支援は3/31までほぼ毎日続き、終了後も子ども食堂に来てもらったり、スタッフが個別に支援したりと現在も継続しています。お子さんのほとんどは能登に帰りましたが、避難所にいる最後の一人が安心した生活を送れるようになるまで、支援を続けていきたいと考えています。



【活動内容】学習支援、生活支援、食事支援

スタッフ28名(学生12名、スタッフ14名、外部ボランティア2名)

【実績】学習支援:53回実施/臨時子ども食堂:1回/生活支援、食事支援:複数回

## 困窮する子育て家庭への食料支援 ～親子に寄り添う訪問型支援～

《金沢市(子育て支援課)  
補助事業・一部自主事業》



金沢市児童家庭相談室や金沢市児童相談所からの依頼や、社会福祉協議会などから紹介を受けた家庭への支援として、困窮家庭へ月2回程度の訪問支援を実施しています。食材提供を通して、困窮する家庭や支援を要する家庭等に奇っい、孤立を防ぐことを目的としています。関係機関の担当者へは定期的に現状を報告し、特変があった場合は速やかに関係機関へ繋ぎ深刻な事態にならないように努めています。

物価の上昇が止めどなく続き、貧困家庭をとりまく状況はますます厳しくなっています。支援家庭にお配りする食料を調達するのに、今まで以上に資金はもとより労力があるようになってきました。一人親家庭の親御さんの給料はそれほど上がっていません。それなのに、食品をはじめ光熱費は上がり大変苦しそうです。子どもたちが将来の希望や進学、進級さえもあきらめようとするケースが出て

います。奨学金の情報提供はもとより、苦境を乗り越えるために市のソーシャルワーカーさんと連携して支援していきたいと思います。

また、金沢市が主催し、社会福祉協議会が企画運営する「子ども宅食推進事業」にはぐはぐも協力しています。これは、金沢の特徴である地域コミュニティ力を活かし、市内を概ね8ブロックに分け、それぞれに拠点を開設し、社会福祉団体と連携し地域から子どもの生活を支援する取り組みです。食料提供を通して、支援が届きにくい家庭に必要な支援につなげる仕組みの構築を目指しています。対象は児童扶養手当を受給している世帯で、拠点に食料を取りにきてもらう際にスタッフから声かけをし、地域での見守り体制や必要な支援に繋げています。特に厳しい状況にある困窮家庭は、「訪問型見守り支援」に繋がっています。

【令和5年度実績】対象世帯:40世帯程(内金沢市見守り対象:36世帯)  
訪問及び受け渡し回数:年500回程度

## そのまま子ども食堂 & 学習支援

困難な状況のご家庭を対象に行っている「そのまま子ども食堂」と「そのまま学習支援」(毎月第2、第4金曜夜開催)では、スタッフみんなで、来て下さる親子が安心して過ごせるよう心がけています。最近スタッフからこんな言葉を耳にします。

「最近〇〇ちゃん変わってきたね、前まで我慢できなかったのに、気持ちの切り替えが上手くなったね」「〇〇ちゃん、みんなと仲良くあそべるようになったね」「〇〇ちゃん、表情が明るくなったね」



子ども食堂を通して子どもたちの成長が感じられます。もちろん、時にはいろいろな問題が起こることもありますが、それこそ成長の証。スタッフはいつも温かくそつと見守っています。メニューは工夫を凝らし季節を感じられる手作りのものを提供



ています。みんなで楽しめるクリスマスなどの行事も開催し、心とお腹を満たしてもらいます。

学習支援では、大学生やボランティアスタッフが一緒に勉強や遊びをすることで子どもたちを見守ります。小学生は勉強よりも徐々に遊びが主となってきましたが、スタッフと過ごす時間をいつも楽しみにしているようで、どの子も本当に嬉しそうです。また中学生の中には受験生もおり、勉強の合間に、大学生に受験や進路の相談をしていました。受験生2名は今春無事志望高校に合格し、スタッフ共々喜びを分かち合いました。



この食堂はとても多くの方に支えていただいています。調理、学習支援、食堂担当、子どもの見守り、食材確保、前日の準備、翌日の掃除と片付け、そしてお米や食材を提供して下さる有志の方々。その他にも多くの方に支えられ、本当に感謝しかありません。親子の居場所の一つとして、心を込めて運営していきたいと思います。

## 【第63回】はぐはぐ子育て塾《金沢市委託事業》 令和6年2月24日(土) 10:30～12:00

テーマ「子育て中の親ごさんに伝えたい事 ～子どもたちの自己肯定感UPのために!!」

講師 原田 克巳さん(金沢大学人間社会学域学校教育系准教授)

講師の原田先生のご家庭のお話から始まり、おじいちゃんおばあちゃんの居る家っていいよね～子育てを助けてもらえるから、というお話がありました。全ての価値観を自分で選ばなければいけない時代に、個の底力を形作る子育てでは、子どもにとっての安心基地・安全基地になることを大切に!そのためには、斜め後ろで見守ること(子どもが必要とした時に手を差し伸べる事の出来る距離

参加人数 親子6組12名

感が大事)。小さな冒険にワクワクを持たせて送り出し、「頑張ったね。疲れたね」と共感してあげること。また見守る大人も潰れないように、遊びに行つて気分転換をしたり、助けてくれる人には頼ったりすることも大事、と教えていただきました。「子どもたちが幸せのオーラを浴びていけるように子育てに励みましょう!」と保護者にエールを送っていただきました。



## はぐCafe レポート

(金沢市委託事業)



ママたちはどうしているのかしらとスタッフはいつも心を寄せています。

2023年12月、2024年2月・4月・6月に「はぐカフェ」を開催しました。冬場はいしかわ子ども交流センター、春からはコティにて行いました。はぐカフェには、通勤族の親子や育休中の親子の参加が多くあります。温かい飲み物を飲みながら話すと、お母さんの心も緩むようで、コティは楽しい笑い声に包まれます。お母さんの心が緩むと、お子さんたちがのびのび安心して遊んでいる様子がよくわかります。

はぐカフェでは、お子さんへの絵本の読み聞かせやパネルシアター、手遊びが必ずあります。絵本の



読み聞かせが始まると、キラキラした目で絵本に顔を向ける0歳の赤ちゃんの様子がとても印象的です。このキラキラな目を見ていつも「この子たちの未来に幸多かれ」と願う気持ちになります。

4月に初めてコティではぐカフェに参加されたお母さんが帰り際に「ここは実家みたいで、思っていた以上に癒されました」と話していました。

はぐカフェは、これからめいっぱい頑張っているお母さんたちの羽休めの場でありたいな、と思っています。

## 少年院での矯正教育(講話)

ここ数年、年に2回ほど、少年院(湖南学院)での親セミナーをさせていただいておりますが、今年度前半は、五月晴れの5/15(水)に、はぐはぐスタッフの助産師さんと一緒にお話をしてきました。タイトルは、「将来パパになったときに知ってほしい7つのルール」です。

今回は、前半は助産師さんから女性の妊娠から出産、出産後の女性の身体の変化などの話、そして後半は、育児の心構えやパートナーとのコミュニケーションについて学んでいただきました。

前半と後半の間に、実際に院生の皆さんにも妊婦ジャケットを着てもらい、妊娠中の女性の体験をしていただきます。ジャケットの重さは妊娠後期のものなので、装着して仰向けに寝転んでもらうと、かなりの重さになり、「おも〜い」と声が出ていました。また赤ちゃん人形を抱っこする場面では、照れながら抱っこする少年、神妙な面持ちの少年もいました。兄弟の子や親戚の子を抱っこしたり、世話をした経験も話してくれました。この講話を聞いてくれた少年たちが、将来は素敵な大人になってくれると信じています。

施設から許可をいただいたのでセミナーを受講した少年の感想文の一部を掲載いたします。

A少年

「この親教育を受けてみて、子どもを身体に宿す女性の大変さがほんの少し分かりました。~中略~ 赤ちゃんのお世話だけでも寝る暇もないくらい大変なのに、それにプラスして家事も担うとなると身も心もボロボロになってしまい、精神的にダメージがすごかかると思います。なので夫になる自分も積極的に育児や家事を手伝ったり、育児制度を使って妻にフリーな日を作って羽を伸ばしてもらったりと、夫婦で協力して子育てをしていくのが一番心身共に円満で過ごせると思ったので、~中略~ 大切な彼女と将来子どもができた時には、今日の講座で知った事を活用してウザイ夫にならないようにします」



B少年

「自分はいつか結婚すると思っていました。ですが、自分に子どもができる、赤ちゃんが生まれる事に関しては、今まであまり考えたことがなく実感がありませんでした。しかし今日受講してみて、パートナーが約10ヶ月苦勞して、出産した後も大変な思いをしながら子育てをしていると、かなりストレスを抱えるのだなと思いました。~中略~ 将来結婚して赤ちゃんが生まれた時は、パートナーだけに子育てをさせるのではなく、家族なんだから、協力しあって元気な子に育てようと思いましたし、パートナーが嫌な思いをしないように気遣いたいです。良い勉強になりました」



## パパぢからアップセミナー「これからパパになる、パパをたのしむために」 《石川県委託事業》

令和4年度から、プレパパやパパたちに父親の心構えや育休制度、また産前産後の女性の心や身体の変化、新生児の育児、ママとのコミュニケーションなどを学んでもらい、夫婦で共に子育てを楽しんでいただくための「パパぢからアップセミナー」を開催しています。はぐはぐスタッフの助産師、社会保険労務士、子育て支援の3名の専門家がプレパパ、パパを対象にお話しています。



昨年度第3回目のパパセミナーは、2/17(土)にオンラインで開催し、17名のパパに参加していただきました。いつものように講師陣からのレクチャー後、グループに分かれての質疑応答を行い、具体的な質問が多く出ました。終了後のアンケートにはかなり満足できたとの感想がありました。恒例になったパパセミナーですが、令和6年度もパパ力向上のため、2回開催を予定しております。

## 働くママの支援事業

### 育休からの職場復帰支援セミナー 《石川県委託事業》

このセミナーは、仕事と育児の両立のコツと家庭や職場でのコミュニケーションの取り方を学び不安を解消し、スムーズな職場復帰・再就職につなげることを目的として開催しています。

コロナ禍ではオンラインで開催していた育休セミナーですが、昨年度から再び対面で開催しています。但し大きく違うのはパパも受講ができるようになったことです。託児



も復活し、パパもママもお子さんを預けてゆつくりセミナーを受講することができます。申し込み希望者が多く、皆さんの関心の高さがうかがえます。

昨年度は年1回でしたが、今年から年2回に回数が増えました。今年も多くの皆様に受講していただきたいと思っています。



## 児童養護施設の子どもたちへの学習ボランティア

平成12年から始まった児童養護施設の子どもたちへの学習支援ですが、コロナ禍で休止になったりしながらも、令和4年度に再開。最初は1年生4人のみでの学習会でしたが、毎年新一年生を迎え、今では人数も増えとても賑やかになっています。

スタッフ2人で細々と続けてきた活動ですが、令和5年9月に新しく2名が、また今年6月からはさらに1名が加わり、スタッフが5名になったことで子どもたち一人一人により丁寧に対応できるようになりました。

小学校2年生からずっときてくれていた中学3年生の女子は、今春、無事高校受験を乗り越えました。高校生になってからも時々、学習支援をしているお部屋をのぞいてくれると本当に嬉しく感じます。

令和5年6月から始めた小学生のための英会話教室は月に2回行っています。

Ian Lawrence夫妻が、教材を用意し、子どもたちのために遊び、ダンス、歌を取り入れた楽しい授業をしてくれています。



# 金沢ペアレンティング研究会



## オーダーメイド・ペアレンティング(MOP) 研修会今後の予定

**MOP初級トレーナー養成研修** 9/7(土)、9/8(日) 時間/10:30-17:00

\*初級では必要な相談の基礎知識およびMOPの基本のセッションについて学びます。

**MOP中級トレーナー養成研修** 10/26(土)、10/27(日) 時間/10:30-17:00

\*中級では子どもの問題行動の相談へのMOPの応用について学びます。

**MOPスキルアップ研修会** 11/23(土)、11/24(日) 時間/10:30-17:00

\*発達特性を持って子どもに対するMOPの応用について学びます。

**MOP継続研修会** 令和6年7月より第2土曜日 時間/20:00-22:00

\*初級トレーナーおよび中級トレーナー、あるいは以前にオーダーメイド・ペアレンティングの研修会に参加した方が受講できる研修会です。

場所: いずれもランプアコティ及び Zoom

申し込み: 氏名、ふりがな、所属、資格(あれば)、メールアドレスを記載して [kanapareken@gmail.com](mailto:kanapareken@gmail.com)にお送りください。

オーダー・メイド・ペアレンティング(Made-to-order parenting:MOP)は、子どもの困った行動を減らし、適応的な行動を増やすかわりを親御さんに提供するアプローチです。親御さんの頭を悩ませている子どもの言動は、子どもが自分自身の力で「安心、安全、安定」を高めようとしていたり、あるいは「安心、安全、安定」がこれ以上奪われないようにしている対処行動だと仮定されます。MOPの特徴は、その仮定のもと、子どもの年齢、性別、発達特性および現在の生活の状況を踏まえ、一人ひとりに合ったオーダーメイドのかかわりをトレーナーと一緒に見つけて行くところにあります。目の前の子どもにピッタリと合ったかわりを生活の中に取り入れることで、子どもの困った行動が減り、本来の子どもの個性や力を親御さんが感じられるようになっていきます。

## 木曜日のコティ ～困難を抱える親の居場所～ ※気軽に立ち寄れる実家のような場を目指して※

日時: 毎週木曜 10時30分~15時(第5木曜は休) 場所: ランプアコティ 対象: 子育て中の親子(支援家庭優先) 料金: 無料

貧困や虐待、DV、精神疾患、育児不安などの悩みを抱え、身近に頼り先のない親や子どもたちを孤立させないため、2022年4月から隔週木曜に無料相談の場としてランプアコティを開放してきました。2024年1月から毎週木曜(第5木曜はお休み)に開催し、子育て塾やはぐカフェに参加して下さった親子、困窮家庭支援対象の親子、地震で被災された方が訪れ、ゆっくりお茶や食事をしながら、スタッフと話したり本を読んだり、思い思いに過ごされています。就職活動の前に寄って下さっていた方が春から就労しお顔を見なくなったり、離乳食の相談をされていた方が資格取得に向けて学び始めたりと、移り変わる状況もみられます。その都度一人ひとりに心を寄せながら、いつもあたたかな空気の中でエネルギーをためられる気軽な実家のような場を目指して、木曜コティを続けていきたいと思っています。



## 高校生と親子の交流授業

平成に誕生した、いしかわ結婚・子育て支援財団が実施する「高校生と親子の交流授業」が、コロナ禍を経て完全に復活しました。参加高校も増え、多くの高校生が親子とふれあう機会を得ています。この授業は次世代の親を育むことを目的に開催されていますが、はぐはぐも誕生当初から携り、現在も見守りスタッフとして協力しております。今年度の協力実績校は、「金沢市立高校」「金沢大学附属高校」「伏見高校」「桜丘高校」「金沢商業高校」「二水高校」などです。

### くろゆり賞 受賞

国際ソロプチミスト金沢-くろゆり様から6月12日に、地域社会においてボランティア活動で貢献している団体に贈られる賞をいただきました。



## はぐはぐ活動スケジュール(令和6年7月~令和6年11月まで)

●はぐはぐ子育てサロン(はぐカフェ・子育て塾) 毎月第1水曜日 \*月によっては変更

日程	活動内容	場所
8/7, 9/4, 11/6 10:30~12:00	ママの居場所 はぐカフェ ◇参加費200円(お菓子飲物付) *金沢市委託事業	ランプアコティ (はぐはぐの家)
10/19(土) 10:30~12:00	第65回子育て塾 ◇参加無料 テーマ「今、なぜ子どもに自己存在感が必要なのか?」 講師:金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 原田克巳氏(臨床心理士、公認心理師) 対象:未就園児をもつ親御さん *金沢市委託事業	いしかわ子ども 交流センター (予定)
毎月 第2、第4 木曜日	子育て相談 *要予約 070-6559-9557	ランプアコティ (はぐはぐの家)
毎月 第2、第4 金曜日	困窮家庭(子育て世帯)への宅食支援(訪問、フードドライブ) そのままこども食堂・学習支援 *要予約 (はぐはぐ支援家庭優先)	ランプアコティ (はぐはぐの家)
夏コース8/18(土) 9/16(月・祝) 冬コース12/8(日) 12/22(日)	「育休からの職場復帰支援セミナー」 *石川県委託事業 講師:水島栄美子(育休ファシリテーター) 対象:育休中のパパママ、産休・育休取得予定のパパママ	夏コース 県立図書館 冬コース 県女性センター
2/17(土) 9:30~11:30	「パパぢからアップセミナー」 *石川県委託事業 講師:塚脇京子(助産師) 服部英明(社労士) 水島栄美子(コーディネータ)	オンライン

## 令和6年(2024年)度 寄付及びサポーター会員募集のお知らせ

はぐはぐは、ボランティアで成り立っている団体です。主な活動は助成金の他、皆様の寄付及び会費でまかなっております。近年では、はぐはぐの家(ランプアコティ)の運営や困窮家庭への食料支援などがありますので、皆様のご支援がありますと本当に助かります。

はぐはぐの活動の趣旨にご賛同いただけるサポーター会員を募集しています。また随時ご寄付やお米、お菓子など食料の支援も受け承っております。温かいご支援を何卒よろしくお願いたします。

【会員の特典】●会報の発行 ●はぐはぐ各種事業の参画  
【年会費】●サポーター会員(個人).....1口 3,000円  
●サポーター会員(法人、団体)・・1口10,000円

【サポーター会員会費・寄付振込先】  
郵便局 口座番号 00790-9-76858  
NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

\*恐れ入りますが、お手数料は本人のご負担をお願い致します。支援金は、親支援・子どもたちへの直接的な支援費用や会の運営費用等に充当させていただきます。

■お問合わせ TEL 070-6559-9557 (はぐはぐ事務局)  
Email: [info@hagu-hagu.com](mailto:info@hagu-hagu.com)

\*いずれも詳しくは事務局(070-6559-9557)までお問い合わせください。